

平成29年6月11日
今週のベストショット



奈多グラウンド 奈多サンデーズ 対 ソルトベイズターズ戦
今季初の勝ち点1を挙げたソルトベイズターズ黒崎投手。

記事・写真：和白新町パイレーツ 岩本 喬

青松園A 三苦フレンズ 山口投手圧巻の投球で無敗をキープ

レッドサンデーズ（2勝3敗）000002 2 古賀●、塚本一八島

三苦フレンズ （4勝） 023010 6 山口○、生野（拓）－佐藤（由）

盗塁：神田（レッド）、松尾・生野（拓）・田中（三苦フ）

小雨の降る中、開始時刻を多少はやめ、レッドサンデーズ古賀投手・三苦フレンズ山口投手の先発で試合開始。フレンズ先発山口投手は初回を三者凡退で切り抜ける。レッド先発古賀投手も初回を難なく切り抜ける。試合が動いたのは二回裏、フレンズ先頭打者の佐藤（博）選手が相手エラーで出塁。次打者の生野（猛）選手が四球を選び無死一二塁のチャンス。ここで七番佐藤（由）選手がセンター前タイムリーを放ち、1点を先制！さらに内野ゴロの間にもう1点追加、合計2点を奪う。レッド打線も反撃したいところではあるが、山口投手の投球術に翻弄され、四回表は三者連続三振に倒れ、誰一人出塁ができない。その隙にとフレンズは三回裏、二死から3点を奪い、さらにリードを広げる。意地を見せたいレッドは四回から塚本投手を投入。フレンズの攻撃を難なく切り抜け、流れを引き寄せる。すると五回表、四番神田選手がチーム初ヒットを放ち、山口投手の完全試合の記録を消し勢いに乗りたいが、後続が続かず無得点に終わる。五回裏フレンズは代打田中選手がセンター前ヒットを放ち無死一塁。パスボールや内野ゴロなどあり二死三塁となる。ここで代打肥喜里選手の登場。代打の一打に期待を寄せているチームメンバー。ここで三塁走者の田中選手がリレードでホームスチールを決行。思わぬ形で追加点が入る。六回表、この回からフレンズは生野（拓）投手にスイッチ。レッドは先頭荒口選手の死球を皮切りに、近藤選手の三遊間を破るヒットを放ち、制球の定まらない生野（拓）投手を責め、相手のエラーも絡み2点

を返すが反撃もここまで。フレンズ山口投手は5回1安打10奪三振と圧巻のピッチングでチームの連勝に貢献。レッド八島監督は「10三振はいかな〜」と反省の弁。ライズボールとチェンジアップを相変わらずうまく使い、打撃をさせないピッチングには苦勞したようだ。レッド古賀投手は試合終了後、投球内容の確認でスコアブックの確認に来た。「ボール先行の投球になってしまった。」と自ら反省点を述べていた。肝心なところではボールが生きていたので、これからのますますの成長に期待したい。

(記事：三友クラブ 山本 健一、写真：大坪和則・広瀬勉)



フレンズ先発10奪三振の山口投手。



レッドサンデーズ先発の古賀投手。



山口投手のライズボールに空振り。



先制のホームを踏むフレンズ佐藤(博)選手。



打撃ではうまく抑えられたフレンズ四番山口投手。



三者三振に倒れ悔しいレッド三番の八島選手兼監督。



四回裏からリリーフのレッド塚本投手。



五回表、チーム初ヒットで盗塁するレッド四番神田選手。



得点圏に進むも、後続続かず無得点。



代打でヒットを放ちホームスチールで帰還する田中選手。



六回表からリリーフのフレンズ生野（拓）投手。



制球難でピンチを迎えるも何とか乗り切り勝利。

青松園B ホーネッツ投打でブルーマーリンズを圧倒

三苫ホーネッツ (5勝) 6 0 7 3 16 川原○、矢野一広木、三浦

ブルーマーリンズ (4敗) 0 0 0 0 0 林●、佐藤 - 横山(健)

HR: 矢野、広木、隈崎、稲葉 (三苫ホ) 3BH: 稲葉 (三苫ホ) 2BH: 川原 (三苫ホ)

試合開始前からパラパラ雨が降ったあいにくの天気の中試合が始まる。初回ホーネッツの先頭打者の矢野選手がいきなり右中間に先頭打者本塁打を放ち先制点を奪う。さらに次打者も出塁して三番稲葉選手が左翼へ三塁打で2点目、さらに四番広木選手は左翼フェンスオーバーの2ラン本塁打。この回さらに二点を追加し、いきなり

大量6点先取して攻撃終了。三回表ホーネッツは無死一三塁のチャンスを作り九番隈崎選手が左翼へ3ラン本塁打を打ち追加点。さらに相手エラーや連続安打に2つの押し出し四球などでこの回も大量7得点。何とか反撃したいブルーマーリンズは三回裏二死から一番児玉選手が中前へチーム初安打を放つも後続が繋げず攻撃終了。四回表ホーネッツはチャンスを作り三番稲葉選手が右中間へとどめの2ラン本塁打。さらに加点し最終回は矢野選手をマウンドに送りブルーマーリンズの三番から始まる上位打線と対する。一死から四番横山(健)選手が四球で出塁するも五番横山(祥)選手はWプレーとなり試合終了。勝ったホーネッツは走者を溜めては長打で返し、投げては川原、矢野の両投手の完封リレーで快勝。一方敗れたブルーマーリンズは一番児玉選手のように粘って粘って何とか出塁するという気迫といやらしさをチーム全体に欲しい。一つ気になったのは試合開始前に円陣を組むブルーマーリンズに対して「どうせ負けるっちゃけん」と言い放ったホーネッツのメンバーがいた事は残念。確かにホーネッツは強いですが相手を侮辱して良いはずはありません。本人は冗談のつもりで天気が不安定なのもあり早く試合を始めたかったのかもしれませんが、そんな事は関係ありません。ホーネッツのメンバー全てがそんな風に考えているとは思いませんが、そういう言葉を平気で吐く人への指導はきっちりしてもらいたいです。相手があって初めて試合が出来ているという事を再認識し、相手をリスペクトする気持ちをみんなで持ちましょう。(記事：新町ウインズ 野中 一史、写真：早田 主大)



ブルーマーリンズの試合前風景。



三苦ホーネッツの試合前風景。



メンバー表に記入する小柳監督。



試合前挨拶。



先頭打者HRを放ったホーネッツ矢野選手。



一回表、三塁打を放った稲葉選手。



一回表、2ランHRを放った四番広木選手。



先発したブルーマーリンズ林投手。



帽子を飛ばしながら捕球した横山一塁手。



堺巖生選手にカメラを向けると・・・



一回裏、ファールで粘り四球を選んだ児玉選手。



ブルーマーリンズ打線を完封したホーネッツバッテリー。



高めの釣り球で空振りを取る川原投手。



三回表チーム3本目の本塁打を放った九番隅崎選手。



チーム唯一の安打を放った一番児玉選手。



四回表、チーム4本目の本塁打を放った稲葉選手。

奈多グラウンド 雨中の激戦！両チーム一步も譲らずドロー！

奈多サンデーズ（1勝3敗1分）200101 4 江口、砂場一野々下

ソルトベスターズ（4敗1分）101101 4 黒崎一酒井

HR：野々下（奈多サ）吉田（ソルト） 2BH：江口、宮口（奈多サ）

弱い雨が降り続く中プレイボールとなったこの試合、奈多サンデーズの先発は江口投手。ソルトベスターズは黒崎投手、好投手同士の一戦となった。初回、サンデーズはエラーとワイルドピッチでチャンスを作り、江口選手のタイムリー二塁打と塩口選手のタイムリー安打で2点を先制する。その裏ソルトの攻撃、四球とフィルダースチョイスでチャンスを作ると三番中村健一選手がタイムリーヒットを放ち、四番酒井選手がヒットで続き無死満塁のチャンスを作り大量点かと思われたが後続が倒れ1点を返すだけとなった。二回、三回サンデーズの攻撃は三者凡退で終わる、黒崎投手のテンポの良さが際立った。ストライク先行で打たせてとるピッチング。テンポが良いせいか好守備が多い印象が残った。そのテンポの良さが攻撃にもつながる、三回裏先頭の吉田選手がセンターへの本塁打を放ち2-2の同点。だがサンデーズも意地をみせる、四回表野々下選手がライトへ本塁打を放ち1点勝ち越して3-2。その裏、サンデーズベンチが継投に入る、セカンドの砂場選手をマウンドへおくる。しかしあきらめないソルトは、先頭森選手がヒットで出塁すると、犠打と連続四死球で二死満塁。四番酒井選手が二塁内野安打を放ち再び同点。最終回となった六回表サンデーズの攻撃、江口選手がレフトへの安打で出塁して、宮口選手のタイムリー二塁打で三度目の勝ち越しで4-3！その裏、先頭の中村健一選手が遊撃内野安打で出塁すると、四番酒井選手がセンターへの安打で繋ぐここで一塁走者中村健一選手が一気に三塁へ！タイミング的には際どかったがセンターの送球エラーを誘い三度目の同点！一死後ソルトベンチが動く、「代打、俺！」中

村 耕一郎監督が打席へ・・・最高の見せ場だったが、打てるボールは一球も無く四球（汗）で一死一二塁。続く田中選手がピッチャーゴロで二死二三塁、迎えるバッター八番森選手、追い込まれながら必死に食らいつきサードへのゴロ、これをサードが弾きあわやサヨナラかと思っただが、どうにか間に合って4-4の同点で試合終了！奈多サンデーズは、何度も勝ち越すが四球とエラーで流れを掴めなかった。ソルトベイスターズは、同点に追いついた後のチャンスにもう一本！本当にあと一本が出なかった。最後の最後までどうなるか解らない、手に汗握る好試合だった。（記事・写真：和白新町パイレーツ 岩本 喬）



無四球完投のソルトベイスターズ先発黒崎投手。



奈多サンデーズ先発の江口投手。



一回表、先制のホームを踏むサンデーズ川上選手。



三回裏、同点本塁打を放ちベンチで祝福される吉田選手。



四回表、勝ち越し本塁打を放ちホームを踏む野々下選手。



好守備をみせたソルト二遊間 左から中村健一遊撃手と八柄二塁手。



四回裏よりリリーフ登板したサンデーズ砂場投手。



4安打の固め打ち、頼れるソルト四番酒井選手。



最終回、勝ち越し打を放った宮口選手。



「代打、俺！」で登場も四球となる中村耕一郎監督。

第9週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第9週、6月11日は雨で1試合が中止、3試合が行われました。

青松園Aのレッドサンデーズ対三苦フレンズ戦は、雨も関係なくフレンズ山口投手の投球術が光り、五回を被安打1無失点10奪三振とほぼ完璧な内容。女房役の佐藤（由）捕手は2打席連続タイムリーと力強い援護。逆にレッド古賀投手は雨のせいか制球が定まらず、ランナーをためては単打ながら失点。途中代打で出場し、レッド塚本投手から安打を放ち、ホームスチールを見事に決めた田中選手にフレンズの勢いを感じた。

青松園Bの三苦ホーネッツ対ブルーマーリンズ戦は、初回からホーネッツ打線が爆発で2HRを含む7安打で6点を先取し、試合を優位にすると、三回、四回にも追加点を挙げる。一方ブルーマーリンズ打線はホーネッツ川原、矢野投手のリレーにわずか1安打に抑えられ、16-0でホーネッツの圧勝。ブルーマーリンズは六番以降の打者は1打席しか回ってこなかった。

奈多グラウンドの奈多サンデーズ対ソルトベイスターズ戦は、ここまで4連敗の昨年最下位ソルトベイスターズが今季人員不足が悩みの種で調子の上がない奈多サンデーズとシーソーゲームを展開。サンデーズが野々下選手のHRなどで勝ち越すも今回のソルトは吉田選手のHRなどで三度追いつく粘りを発揮して4-4の引き分け。

久しぶりに雨が降った日曜日でしたが、3試合は消化できました。

そんな中、記事にもありましたが、ホーネットのメンバーがブルーマーリンズの試合前の円陣を見ながら「どうせ負けるっちゃけん」と言っていたという記事に触れない訳にはいけません。

「どうせ負けるっちゃけん」

とは、如何なる了見かっ！

恥ずかしながら久しぶりに、怒りに震えました。

編集部長になってから5年、掲示版への心無い書き込みや他チーム・審判に対する誹謗中傷などがある度に書かせて頂いていますが、これは一緒に和白リーグをここまでやってきた仲間に対する冒瀆でもあります。

確かにベストなメンバーが揃えられず、競った試合が出来ないチームもあります。

しかし、朝グラウンドに集まり、整列する瞬間には勝利のために皆、今できる最善を尽くしている筈です。

それを・・・こういった発言が出る事が、・・・悔しい。

私は、編集部長と今年からレッドサンデーズの監督という二足の草鞋で和白リーグに参加していますが、監督として試合前に少しでも情報を皆に伝えたいという思いから話が長くなることもあります。

そのため、少しでも時間を有効に活用するため、先発メンバーの発表と試合展開、相手戦力などを土曜日には選手にLINEで伝えています。

各チームで試合への臨み方は様々だと思いますが、勝利への思いは同じと信じていますので、工夫して相手を見返す気概を見せて欲しいものです！

困みに監督やってると、負けるのが選手でやってる時の何倍も悔しいことだと思知らされています。

一部、感情的な文章になってしまいましたが、皆が最善を尽くし切磋琢磨していくのが和白リーグだと思しますので、ご意見がある方はどうぞ和白リーグ発展のためによりしくお願いします。